

# G7気候・エネルギー・環境大臣会合の結果 (カーボンリサイクル部分)

経済産業省

資源エネルギー庁

資源・燃料部

# G7気候・エネルギー・環境大臣会合コミュニケにおけるカーボンリサイクルの扱い

- 2023年4月15日～16日に日本・札幌で開催されたG7気候・エネルギー・環境大臣会合の機会に成果文書として「**G7気候・エネルギー・環境大臣会合コミュニケ**」を作成し、カーボンリサイクルについて以下の通り記載。

## パラ68 カーボンマネジメント（CR関連部分抜粋）

（前略）我々は、二酸化炭素の輸出入メカニズム整備を促進するために協力する。我々は、二酸化炭素の活用、及び活用を通じて二酸化炭素の価値を高めるシステム、もしくはインセンティブを整備する必要性を認識する。これらの技術の進化していく性質を考慮し、我々は、**CCU/カーボンリサイクル**及び**CCS**は、**2050年までのネット・ゼロ排出達成のための脱炭素化解決策の幅広いポートフォリオの重要な要素になり得ることを認識**しており、**イーフェューエルやイーメタンなどのカーボンリサイクル燃料（RCFs）を含むCCU/カーボンリサイクル技術は、化石由来の製品代替や二酸化炭素を活用することで、他の方法では回避できない産業由来の排出を、既存のインフラを活用しながら削減できることを認識**する。（中略）我々は、CDRのMRVの調和を促進するための国際協力を加速し、**RCFsなどのCCU/カーボンリサイクル技術に関する産学官の共同ワークショップを含めた交流を行う。**